

レガシィのリコールについて

届出日:平成26年7月17日

平成26年7月17日、富士重工業株式会社より、国土交通省にレガシィのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	3388	リコール開始日	平成26年7月17日
不具合の部位(部品名)	原動機(エンジンコントロールユニット)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	直噴ターボエンジンを搭載した車両において、エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、高負荷運転時にプレイグニッションが発生し、点火プラグやピストンが損傷する場合があります。そのため、警告灯点灯、車体振動が発生し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、エンジンコントロールユニットの制御プログラムを書き換える。また、点検を行い異常が認められた場合は、点火プラグ、または、エンジンを良品に交換する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	DBA-BRG	「レガシィ」	BRG-002001 ~ BRG-011560 平成24年4月9日～平成26年6月17日	7,708	
	DBA-BMG		BMG-002001 ~ BMG-004871 平成24年4月10日～平成26年6月16日	2,435	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成24年4月9日～平成26年6月17日	(計10,143台)	

※対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。